

〈解答〉

- ① 1 ウ  
 2 エ  
 3 〔例〕クマゼミを入手することは価値のある（17字）  
 4 イ  
 5 ウ

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ①
- 1 「虫」という漢字に、ウ「オ（けものへん）」を付けると、「独」という漢字ができる。
  - 2 「おかしな」は、直後の「ことだ」という名詞を含む文節を修飾している。文章中にある「雄大な」や「透明な」という単語は、「雄大に」「透明だ」のように活用する（つまり、形容動詞である）が、「おかしな」は、「おかしだ」「おかしに」などと活用することはない。つまり、自立語で活用がなく、名詞のみを修飾する単語ということから、「連体詞」と判別することができる。
  - 3 傍線①にある「先生やお母さんの言うことは、なんでも一回だけは聞いてもよい」は、少しくらいの嫌なことは受け入れてもよいという「ぼく」の気持ちを、比喩的に表現したものである。そこで、どのようなことが起きたら、少しくらいの嫌なことを受け入れてもよいと「ぼく」が思っているのかを考える。傍線①の直前にある「この雄大なセミ（クマゼミ）はこの地ではめったにお目にかかることができず、みんなの憧れの的だった」という一文をヒントに、もし羽化した幼虫が「クマゼミ」で、それを手に入れることができたら、少しくらいの嫌なことは受け入れてもよいと思えるほど、価値のあることだという「ぼく」の心情を読み取る。
  - 4 副詞「まるで」には、「下に否定的な意味の語を伴って」まさしくその状態であるさま」と、「違いがわからないほどあるものやある状態に類似しているさま」という二つの意味・用法がある。Aには「まったく」「すっかり」と言い換えることができる前者の意味の「まるで」が入り、Bには「あたかも」「さながら」と言い換えることができる後者の意味の「まるで」が入る。
  - 5 傍線②の前にある「かえったあとなら、しょうがないわ」という「ぼく」の会話文に注目する。「ぼく」は、セミの変身の正体を見きわめるために、セミの羽化の瞬間を見たいと思っていたのに、弟のミトが羽化した後に起こしに来たため、ウ「起きる意味がない」と思ったのである。